

肉製品、乳製品製造業における階段、栈橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	13~14	被災者は、2期棟1階充填ラインで作業に従事していた。惣菜計量機を操作する為、2段のステップに上がる際、右足が2段目左足が1段目にある状態で左足が滑り胸を打った。ステップ右側には手すりがあり、つかまっていたが体を支え切れなかった。	59	500 ～ 999
2	5~6	工場にて、管理棟のトイレに向かう為、通路の階段を下りる際に右足首をひねり、右足甲に骨折を負う。	51	100 ～ 299
3	18~19	退社するため2階から1階へ階段を下りているときに階段から足を踏み外し、上から4段目から踊り場まで転落して頭部を強打し、右足も捻った。	57	300 ～ 499
4	10~11	食肉出荷事務所から階段を下りる時にバランスを崩し前のめりになったのを立て直そうと足を付いたところ足を捻った。手すりはつかまったが傘を持った状態だったのでしっかり握れていなかった。	42	500 ～ 999
9	14~15	休憩後生産室に向かう途中、共用エリア（生産室入口下駄箱前）の階段を下りる際に、残り2段目付近で足がつまずき転倒し、床面に手首と顔面を打ちつけた。	58	100 ～ 299
9	15~16	炊き出し用の釜のスープの濃度チェックをする為に、お玉を取り3段の階段を下りる際、段を踏みはずし転んで、腰と臀部を打った。	64	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html